

当局(昨日)低額「有額」を提示!

日刊 勤労千葉

81.4.16

No. 717

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六・八(巻)三三三二七二〇七

四月決戦ストで低額回答を打ち破れ!

勤労千葉は、四月十五日、国鉄本社において六回債上げ交渉を行った。この団体交渉には、勤労千葉・山口交渉部長、西森法対部長、水野財政部長、高橋交渉委員が出席した。交渉席上、木村・本社給与課総括補佐から、本年四月一日以降一人平均定期早給分を含めて八一五五円(四・二三%)をひきあげるとの「有額回答」が提示された。これに対し組合側は、このような生活実態を無視した低額回答は許せない。要求通りの賃上げ額を提示せよと強く抗議し、この日の団体交渉をうち切った。

ストなし春闘策動をうち破れ

全組合員のみなさん
四・三%という雀の涙ほどの「有額回答」を許せるのか。国鉄当局は、国鉄経営が破綻的危機にあるから、国鉄労働者は「再建合理化に協力しろ、したがって低賃金」窮乏生活に耐えろと強制しているのだ。さらに許せないことには、政府・当局が「赤字の国鉄には格差回答を」等といいつつ、これを譲歩したかのごとくのポーズをもって昨年並の才一次回答と同率を示し、もってストなし春闘に押さえこまんとする極めて悪らつな攻撃であるのだ。

現に四月十四日、自民党・安倍政調会長は、私鉄・公労協統一ストライキに対し「ストなしですむよう我々は、組合側と非公式に接触している。ストなしならば少々ムラヌ・アルファをつけてやるう」等と完全に労働者をなめさせた態度でいる。

これは明らかに官民分断をさせ、ストなし管理春闘を等したなにもでもない。われわれは、かかる「ストライキ一掃」攻撃を許さず三月決戦ストライキの地平を押し広げる立場で取場からの決起をもって低額回答打破をかちとらなければならぬ。

雀の涙ほどの賃上げで、「合理化」に協力せよ」という当局!

交渉での当局回答の主旨は、「国鉄再建特別措置法」が成立し、これを最後の砦として、再建に向けてスタートを切る事になった。現在の危機的な財政状況下において賃金を引き上げることが極めて困難であるが、再建合理化に対する

協力を期待して、本年四月一日以降一人平均四一四〇円(二・一五%)引き上げ、これに定昇分四〇一五円(四・二三%)を加えれば八一五五円(四・二三%)とする」というものであった。

これに対し組合側から「合理化協力を前提とした低額回答を押しつけることは許せない。今日の物価動向からしても、労働者は耐乏生活をせよとの云い方であり、絶対に容認できない。要求額満額を回答せよ」と強く主張し、当局回答を拒否した。

4・22〜24決戦ストへ

総決起しよう!

本部は、かかる情勢をかんがみて、15日夕刻より才九回闘争委員会を開催し、この低額回答を打破し、ストなし春闘をかち破る決意と方針を確認した。

そして4月18日、支部代表者会議を開催することを決定し、四月決戦ストライキへ向けた体制を確立することとした。全組合員のみならず、
反処分・生活防衛・反合・三里塚春闘へ総決起しよう。

当面するスケジュール

- 4月16〜17日... 勤労千葉組織部長会議
- 16日... 学園新採歓迎会(青年部)
- 17日... 団交
- 17日... 交運「首都圏総決起集会」(京下駅)
- 17日... 反処分・春闘勝利青年部総決起集会(千葉)
- 17日... 千葉地区労春闘総決起集会
- 18日... 支部代表者会議
- 23〜24日... 春闘決戦スト